

## 調査データの見方

荷重 Wsw kN	半回 転数 Na	貫入深さ D m	貫入量 L cm	1m当たり 半回転数 Nsw	記事		推定 柱状図	荷重Wsw kN			貫入量1m当り 半回転数 Nsw			換算 N値 N	換算 qa kN/m <sup>2</sup>
					音・感触	貫入状況		0.25	0.50	0.75	50	100	200		
0.75	0	0.25	25	0	無音	回転緩速								1.5	12.0
1.00	0	0.50	25	0	"	"								2.0	16.0
1.00	7	0.75	25	28	"									3.9	31.0
1.00	18	1.00	25	72	ガリギリ	強反発								6.8	54.6

荷 重 (Wsw) : 25cmの貫入するのに要した重さ (kN)

半回転数 (Na) : 25cm貫入するのに要した回転数  
(180°で1回転とする為、半回転数と呼ぶ)

貫入深さ (D) : 貫入量の累積深度 (m)

貫入量 (L) : 25cm毎に区切り、貫入した深度 (cm)

1m当たり (Nsw) : の回転数を貫入量1m当たり換算したもの  
半回転数 (但し、150を超える場合は、150とする)

換算N値 (N)

\* 国土交通省告示1113号第2(3)により、スウェーデン式サウンディング試験結果より、直接地盤の許容支持力が求められる。(公的な機関への提出は、本計算式による)

(長期)  $qa = 30 + 0.6Nsw$

(短期)  $qa = 60 + 1.2Nsw$

\* 上記国土交通省告示による算定は、土質が考慮されていない上、小規模建物に採用するには、信頼性に乏しく(最低でも30kNが出る)、当社として、より安全側となる下記計算式(稲田式)を採用する。

: 粘性土・砂質土により異なる

粘性土  $N = 0.03 \times Wsw + 0.05 \times Nsw$

砂質土  $N = 0.02 \times Wsw + 0.067 \times Nsw$

換算qa (kN/m<sup>2</sup>): 地盤の許容支持力

粘性土  $qa = 10 \times N$

砂質土  $qa = 8 \times N$